



働くことを軸とする 安心社会の実現を

2012 春季生活闘争 1万人 総決起集会を開催

連合愛知は3月4日、名古屋・栄の久屋大通公園 久屋広場において「働くことを軸とする安心社会を実現しよう」をスローガンに、「2012春季生活闘争1万人総決起集会」を開催した。これからヤマ場を迎える2012春闘において、要求実現と機運の盛り上げなどを図るために行われたこの集会には、神野会長をはじめとする連合愛知三役、構成組織からの参加者など、約1万人の参加があった。会に先立ち、青年委員会・女性委員会による全体リハーサルおよび各構成組織の旗手登壇が行われ、会場の雰囲気が盛り上がったところで集会がスタートした。

冒頭あいさつに立った神野会長は、「低迷していた日本経済は少しずつ回復傾向にある昨今であるが、今春闘においては経営者から定期昇給凍結という声も出ている。震災以降の生産の停滞で厳しいのは確かだが、1年の決算だけで判断することは不満である。非正規雇用の労働者の割合が30%を超え、年収200万以下の人々が1,000万人を超えるなど格差が広がっている状況であるが、今春闘は勤労者が幸せを感じられる賃金水準となるよう、勤労者一人ひとりの声を受けて交渉につなげていく。すべての働く者の生活を守るために、共にがんばろう」と熱意を込めて語った。



小林副会長(私鉄総連)

藤好副会長(愛教組)

犬飼執行委員(全自交)

深作和宏さん(共栄社労組)

決意表明を行う代表者



青年委員会・女性委員会による全体リハーサル



会場を埋め尽くす参加者

4人の代表がそれぞれ決意表明を行った後、三村副会長が読み上げた「集会アピール」を参加者の総意で採択した。引き続いて、板垣副会長によるガンバロー三唱で、春闘勝利への意志固めを行った。その後、名古屋市内を青年委員会・女性委員会を先導役に、参加者全員で「賃金の底上げをするぞ」「仕事と家庭を両立するぞ」などシュプレヒコールを行った。

連合愛知1万人総決起集会アピール

連合愛知は、本日ここに「働くことを軸とする安心社会を築こう」をスローガンに、2012春季生活闘争1万人総決起集会を開催した。

昨年3月11日に発生した東日本大震災の被害はきわめて甚大であり、生活、地域社会、経済・産業活動への人的・物的両面で大きな被害をもたらした。震災からの復興そして将来を見据えた再生には国力を挙げて取り組まなければならない。

政界経済の不透明感、日本経済のデフレの進行、超円高など、取り巻く環境は厳しい。賃金水準は低下し、依然として雇用環境は厳しく、特に若年層の雇用不安も深刻化している。また、非正規労働者は過去最高となり年収200万以下の層は1,100万人、さらに生活保護受給者は206万人を超え、貧困・格差の問題は社会的に許容できる範囲を既に超えている。勤労者は、雇用不安、賃金不安、将来不安により脅かされつづけており、それが消費の低迷へと連鎖し、日本経済が停滞するという悪循環を繰り返している。

そうした中、経営側は定期昇給制度の在り方にまでも言及している。これは賃金抑制だけに埋没した「コスト削減」

一辺倒の主張であり、労使の信頼関係を揺るがすものとして到底受け入れられるものではない。人件費はコストではなく、中長期的な企業の競争力を生み出す「人」への投資とすべきである。賃金を安定させ、働く者の不安を払拭することは、経営者として最低限の責任である。我々は、働く者の生活を守るためにはこれ以上の賃金水準の低下は阻止しなければならない。

今次春闘は、労働者への適正な配分を求め、低下した賃金の復元、底上げ・底支え、格差是正に取り組む。そして消費を拡大し、持続可能な成長とデフレ社会からの脱却を実現しなければならない。さらに雇用を確保し産業・企業を支える人財力・現場力を高めることこそが、直面する幾多の困難を乗り越え、産業・企業の生き残りへと健全成長への道を切りひらく唯一の道と確信する。

「働くことを軸とする安心社会」を実現するために2012春季生活闘争は、すべての労働者の処遇改善にむけて、連合愛知、構成組織が一体となり全力で闘うことをここに宣言する。

2012年3月4日

連合愛知2012春季生活闘争1万人総決起集会

あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談

専用電話

052(618)7831

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談

場所/ (社)日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

連合愛知の「ここあ」です。よろしくお願ひします！

マスコットキャラクターお披露目式を開催



連合愛知の「ここあ」です

連合愛知は、3月4日名古屋久屋広場において、春闘1万人総決起集会の前段において、連合愛知マスコットキャラクターのお披露目式を実施しました。

昨年10月から12月末まで、連合愛知加盟組織および広く市民一般の方からマスコットキャラクターの名前を募集しました。2ヶ月間で470通もの応募をいただきました。ありがとうございました。

厳正なる審査の結果、連合愛知マスコットキャラクターの名前を「ここあ」と決定いたしました。「ここあ」には、心温まる連合愛知に!心から愛されるキャラクターでいられるように!との願いが込められています。

「ここあ」には、以下の3名の方が名付け親となつて

名付け親の3名のみなさん

いただきました。
自動車総連
内田あやのさん
自動車総連
伊藤真理子さん
電力総連
栗田龍青さん
3名の方には、



神野会長から記念の楯が贈られました。また、この会には、「ここあ」の着ぐるみも披露されました。今後、連合愛知の多くの活動場面において活躍していきます。よろしくお願ひします。



組織拡大は連合運動の生命線！

「2012年度組織拡大セミナー」を開催

連合愛知は、2月9日ワークライフプラザれあるにおいて2012年度組織拡大セミナーを実施した。この会には、構成組織担当者、地協役員など89名が参加。冒頭、神野会長より第5次組織拡大中期計画への取組みに対するお礼とともに、第6次組織拡大中期計画では「自ら行動を!」とした取組みの要請がなされた。

講演 では、組織拡大委員会を代表して浅井委員長より「組織拡大は連合運動の生命線!」のテーマで話があった。「労働組合は、社会を良くする方法だ」「組織拡大の取組みは感動・共感が得られるとともに、タフで有能な役員を育成する最も実践的な場となる」とした趣の講演がされた。



講演をする田中労働審判員

続いて可知組織拡大局長より行われた報告では、2011年9月よりスタートした第6次組織拡大中期計画を説明し、その理解・浸透を図るとともに、ノアポで飛び込み訪問を行う実践研修会に参加した尾張中地協・加藤事務局長と豊橋地協・草野事務局長より訪問先での会話や対応、感想について報告を受けた。

加藤事務局長からは「門前払いではなく、きちんと対応していただいた。思った以上にやってみなければわからないと実感した」、また草野事務局長からは「異業種の方と情報交換ができた大変有意義な場となった。訪問した後のフォローが大事だと思った」という感想が述べられた。

講演 では、IHI労組出身で、現在労働審判員の田中利夫氏より、「個別労使紛争と労働組合」と題した講演が行われた。事例を織り交ぜながら「労働組合があれば、こんなことにはならなかったのに・・・」とした趣旨の講演をいただいた。

最後に、狗飼副委員長より「組織拡大は情熱だ」とした閉会あいさつをもって終了した。



愛知県共同募金会の岡谷会長に目録を手渡す神野会長

一人ひとりの善意が大きな善意へ

第20回「連合愛知助け合い運動」によるカンパ金寄託式が行われる

連合愛知は2月20日、愛知県社会福祉会館において「連合愛知助け合い運動カンパ金寄託式」を行った。

本年度20回目となる「連合愛知助け合い運動」は、連合愛知の組合員52万人からカンパ金として集めた37,975,136円を愛知県共同募金会に寄託した。冒頭のあいさつで神野会長は、「東日本大震災や台風による自然災害などが多数発生し、連合としても都度、街頭および組織内の組合員によるカンパ活動を行ってきた。数多くのカンパ活動を行ってきたことによる影響で、金額

面で心配をしていたが、働く多くの仲間の協力を得て、前年を上回る募金額となった。社会で困っている方々に役立ててほしい」旨を述べた。1992年に助け合い運動が始まって以来「組合員1人あたり100円」を目標に展開しており、これまで連合愛知が愛知県共同募金会に寄託したカンパ金の総額は、791,423,162円にもなる。これらのカンパ金は、福祉施設の整備や就職支度金支援など公的支援が受けられない施設などの支援に役立てられる。

労使の意識合わせを！

平成23年度第2回愛知労使懇談会を実施

連合愛知は、2月14日にメルパルクNAGOYAにおいて愛知県経営者協会との「平成23年度 第2回愛知労使懇談会」を開催した。

冒頭あいさつに立った神野会長は「3月期決算は震災やタイの洪水、円高の影響により全般的には減収が多いが、賃金は一年だけで判断して決めるものではない。本懇談会では今の流れをどう判断するかなど環境状況の認識を合わせたい」旨を述べた。

続いて愛知県経営者協会山田会長からは「日本の置かれている状況認識や方策は、税制や通商関係など連合と経団連で同じ見解だが、労働政策や個別労働条件

で少しずつ意見が違う。流れが大事との見解は一致している」旨が述べられた。

2012年春季生活闘争を取り巻く労使の主要課題について

連合白書・経営労働政策委員会報告の趣旨説明後に意見交換を行い、賃金制度への認識・『人財』の必要性・非正規雇用のあり方・65歳までの雇用確保、等について労使双方より意見が出された。

最後に、大久保副会長より「春の取組みは知恵を出し合うまたとない機会であり、本日は広い視点で議論できた。経営側も働いている者の現場を知ってほしい」とのあいさつで閉会した。



209件もの働く仲間からの相談が寄せられる

「春の労働相談ダイヤル」を実施

連合の全国一斉労働相談ダイヤルの実施に伴い、連合愛知は2月1日から3日間にわたって「春の労働相談ダイヤル」を実施した。今回は、連合愛知の10の地域協議会を中心に、地協役員が働く仲間からの相談を受けた。

初日となる2月1日は、愛知県下18の駅頭で早朝街頭宣伝行動を展開し、その後、新聞、ラジオ、テレビを通じて宣伝活動を実施した。さらに、夕刻には国会議員や県議会議員をはじめ連合愛知事務局による金山駅での街頭宣伝行動を実施した。

昨年2月のキャンペーンは75件に止まったが、今年は

広報活動を強化したこともあり、209件もの相談が寄



「春の労働相談ダイヤル」の様子寄せられた。相談項目としては、雇用契約や賃金・一時金関係をはじめ、いじめ・解雇問題に関する相談も多く寄せられた。連合愛知は、今後も「労働相談ダイヤル」などにおいて、すべての働く仲間の不安や悩みに応えるとともに、組織化を含めて助言や支援を続けていく。

第5回 執行委員会

2012年2月23日

確認事項

- 1 当面の日程について
- 2 安心ネットワークセンター設立について
- 3 連合愛知第8次・愛知労福協第13次友好訪中代表団ならびに国交正常化40周年記念特別訪中団の派遣について
- 4 キャラクターの名前の決定について
- 5 特定(産別)最低賃金改正の申出の意向表明について
- 6 愛知労働局との意見交換会の開催について
- 7 2012年最低賃金学習会の開催について
- 8 ホームレス自立支援特別措置法延長の取組みについて

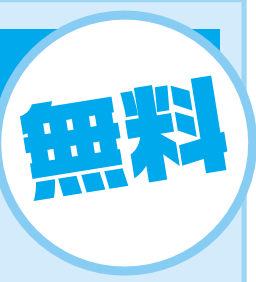
- 9 2012メーデーについて(その2)
- 10 2012年「交通安全運動」および「安全なまちづくり運動」の展開について
11. 2012連合平和行動の派遣について
12. 「連合愛知助け合い運動」組織内任意カンパの寄託と配分について

議 事

- 1 各種審議会・委員会などへの派遣について
- 2 登録人員の変更について
- 3 扶桑町議会議員選挙の候補者推薦について
投・開票日:2012年4月22日(日)
推薦候補者:矢嶋恵美(やじま えみ)[民主党・現1]

勤労者安心ネットワークセンター開設

勤労者安心ネットワークセンターの相談ダイヤルが3月5日よりスタートしました。労働、多重債務、共済・保険、住宅、金融、健康・介護、婚活・冠婚葬祭などの相談を、無料で受け付けています。



はい 行こう 連合
0120-81-1505

までどうぞ!

第83回愛知県中央メーデー

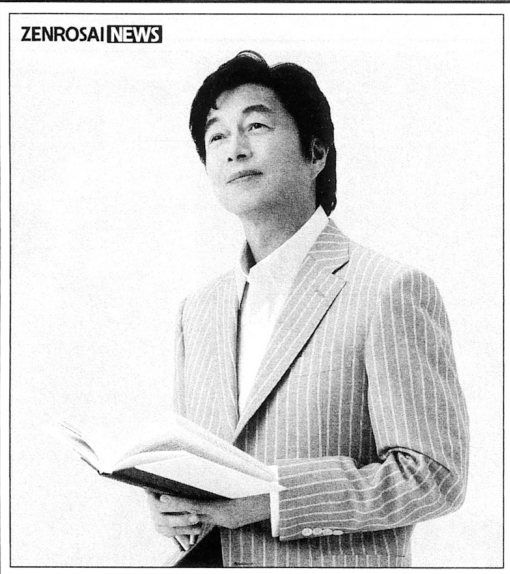
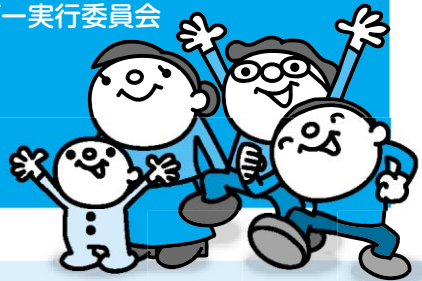
日 時 2012年4月21日(土)
〔式典・集会〕10:00~11:20
〔PRコーナー〕9:30~13:00

会 場 久屋大通公園・久屋広場

※会場内には、連合愛知と連帯しているNGO、世界寺子屋名古屋実行委員会の活動紹介や、東日本大震災の救援ボランティア活動報告、被災地の物産販売、地震体験車「なます号」の体験など震災関係ブースも含め、交流・連帯が体感できる内容となっています。

主催:第83回愛知県中央メーデー実行委員会
TEL052-684-0005

共催:愛知労福協
後援:名古屋市



安心の笑顔のそばにはいつも、全労済があります。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

地 協 紹 介

三河中地協

三河中の行事紹介

列島クリーンキャンペーン

三河中地協では地域に根ざした活動の一環として、岡崎地区・西尾地区の二カ所で各地区の役員並びに政策推進議員合同による「列島クリーンキャンペーン」と題したボランティア活動を展開しています。例年、暑い時期の開催ではありますが自分たちが普段使う幹線道路脇の清掃活動ということもあり、ついつい作業に

「熱く」なってしまいます。参加者の額には玉のような汗が浮かんでいますが、袋いっぱい集まったゴミに「俺がキレイにしてやった!」と言わんばかりの満足げな「ドヤ顔」が浮かびます。去年は台風の接近で西尾地区の活動が出来ませんでした。今年もまた地域の環境を実感するためにも続けていく予定です。



役員研修会

当 地協では年二回の役員研修会を実施しており、講師を招いた机上研修会と、視察に主眼を置いた持出し研修会を三役・幹事を中心に開催しております。本年は2月3日に机上研修会を岡崎市勤労文化センターに於いて愛知県西三河県民事務所との共催で開催しました。今回は大同特殊鋼統括産業医の齊藤政彦氏を講

師にお招きし、「職場のメンタルヘルス」について約1時間半の講義を頂き、質疑応答では多くの質問が参加者から出るなど概ね好評のうちに終了しました。三河中地協では今後も地協役員の資質向上のため、引き続きさまざまな観点からの研修会を実施していきたいと考えております。

